

# 飯塚 市議会だより

No.66

2021.12.1

年4回発行：飯塚市議会 〒820-8501 飯塚市新立岩5番5号 ☎0948-22-0214 FAX0948-28-1251  
ホームページ：<https://www.city.iizuka.lg.jp/shise/gikai/> メールアドレス：giji@city.iizuka.lg.jp

## 9月定例会における新型コロナウイルス感染症対策



令和3年9月定例会は、福岡県での新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の期間中（8月20日から9月30日）の開催となりました。市内でも感染状況が悪化していたことから、議案審議に影響のない一般質問（9月7日から9月9日）において、議員の出席調整を行い、会派ごとに人員の半数以上が議場に入り、議員を過半数（14名以上）の出席とし、他の議員は議会棟内でタブレット端末やモニターでの視聴を行うなど感染のリスクを抑える議会運営を行いました。

※地方自治法

第113条 普通地方公共団体の議会は、議員の定数の半数以上の議員が出席しなければ、会議を開くことができない。

### 12月定例会（予定）

日	月	火	水	木	金	土
11/21	22 議会運営 委員会	23 勤労感謝の日	24	25	26	27
28	29	30 本会議 (初日)	12/1	2	3	4
5	6	7 本会議 (一般質問)	8 本会議 (一般質問)	9 本会議 (一般質問)	10 本会議 (一般質問) (質疑・委員会付託)	11
12	13	14 常任委員会 (経済建設) (福祉文教)	15 常任委員会 (総務) (協働環境)	16 (予備日)	17 本会議 (最終日)	18

※日程は変更される可能性がありますので、最新の情報はホームページにてご確認ください。

※本会議・各委員会は10時開会の予定です。

知らないうちに、拡めちゃうから。



= 目次 =

- 議案審議の概要 …… 2P
- 一般質問 …… 3～6P
- 委員会レポート …… 6～8P
- 議案の議決結果 …… 8P

## 議案審議の概要

9月定例会（9/2、9/27）では、市長提出議案37件、請願2件、議員提出議案4件、合わせて43件を審議しました。

審議にあたり、人事議案を除く市長提出議案については、所管の常任委員会及び特別委員会に付託し、各委員会で鋭意審査を行いました。

審議した主な議案とその概要は、次のとおりです。

### 市長提出の議案

（可決したもの）

#### ●一般会計補正予算（第5号）

・補正予算額11億6377万円増  
令和3年8月の大雨災害にかかる災害復旧等に要する経費及び新型コロナウイルス感染症対策に要する経費を補正するものです。

【主な補正内容】

Ⅱ歳 出Ⅱ

・新型コロナウイルス感染症検査支援事業費

（2946万5千円皆増）

新型コロナウイルス感染症拡大防止及び学びの保障のため、市内小中学校において新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した場合に検査キットを用いたPCR検査、及び学校にいるときに感染症が疑われる症状があらわれた場合に抗原検査を支援した

は実施するものです。

このほかに、福祉関連事業所等、保育施設等及び障がい児通所・入所事業所、児童クラブにおいて同様のPCR検査や抗原検査の経費が計上されました。また、感染者と接触または集団感染が発生した会社・団体等に所属する者と接触した無症状の市民に対し、検査キットを用いたPCR検査を支援する経費が計上されました。

#### ●一般会計補正予算（第6号）

・補正予算額1億4510万5千円増  
補助事業関連経費及び早急に執行すべき経費を補正するものです。

【主な補正内容】

Ⅱ歳 出Ⅱ

・嘉穂劇場保存整備事業費

（2116万5千円皆増）

嘉穂劇場の市移譲に伴い駐車場敷等の用地取得にかかる経費、屋根・空調改修にかかる調査設計委託料を計上するものです。

このほかに、嘉穂劇場の施設管理にかかる会計年度任用職員の雇用経費（6カ月分）の計上や、施設の維持管理経費（光熱水費、維持補修費、通信運搬費、電気設備保安業務委託料等）が計上されました。

#### ●契約の締結（幸袋交流センター建設工事）

同工事について、「株式会社サカヒラ」と3億3625万1300円で請負契約を締結するものです。

### 人事議案

（同意したもの）

#### ●固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

・竹森 宏 氏

#### ●人権擁護委員の推薦に同意

・鹿毛 謙吉 氏・高岡 備子 氏

・宮井 清人 氏

### 請願

（採択としたもの）

●「総合評価落札方式」による入札制度に関する請願  
※結果については、請願者へ通知を行っています。  
（継続審査としたもの）

●飯塚市議会の議員の定数を定める条例の一部改正を求める請願

### 議員提出の議案

#### 意見書

（可決したもの）

●コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実を求める意見書

●出産育児一時金の増額を求める意見書

●地方財政の充実・強化に関する意見書

●選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書

※これら4件の意見書は、各関係大臣、関係機関等に送付しました。



本市のネット環境の現状について／太陽光発電等について



守光 博正

●ネット環境について
【守光】本市の光ファイバの整備状況はどうなっているのか。
【部長】大字単位では整備率99・96%で、市内ほとんどの地域で整備されている。桑曲地域が未整備だが、今年度、整備予定となっている。
【守光】国の高度無線環境整備推進事業とは、どのような事業なのか。
【部長】過疎地域等の条件不利地域で、地域の活性化を実現するため、電気通信事業者の伝送路整備等の一部を補助するものである。
【守光】鹿毛馬地区の一部が未整備となっているが、この事業を活用し、整備できないか。
【部長】インターネットサービスへの加入意向など地域の実情を勘案し、電気通信事業者とも情報交換を行いながら整備促進に努める。

【守光】久留米市が昨年、この事業を活用している。本市でも調査を行い、未整備地域解消に努めてほしい。
●太陽光発電について
【守光】事故が発生した場合、開発業者の補償はどうなるのか。
【部長】原因が開発行為に起因すると立証できた場合は、開発業者に補償責任が生じる。
【守光】太陽光発電の法整備について国・県への要望はどのように行っているのか。
【部長】他自治体と連携して福岡県市長会を通じ、国への要望を行なっている。
【守光】私も飯塚公明党市議団は、太陽光発電の国の明確な基準がないことが大きな問題だと考えており、国会議員に、現在、早急な法整備、基準づくりを、強く要望している。イギリスの歴史家であり評論家であったカーライルの有名な言葉に「人生の目的は行為にして思想にあらず」とある。この言葉を私の決意とする。

浸水対策（遠賀川水系流域治水プロジェクト）について



鯉川 信二

【鯉川】遠賀川水系流域治水プロジェクトの地図上に「堰改築」と示されているのは、鯉田堰のことなのか。
【部長】鯉田堰を示している。
【鯉川】昨年も一般質問で浸水対策を質し、今回、地図上に「堰改築」と明記され、浸水対策が一步前進となった。今後も改築に向けた積極的に推進してもらいたいと思う。
【部長】上水とかんがい用水の取水として利用され課題もあるが、内水被害を軽減する効果が期待できることから協議を進めていく。
【鯉川】遠賀川で大洪水時に計画高水位を超えた場合、排水ポンプを一時停止する運転調整のルールづくりが進められているが、決定すれば緊急時の排水機場の運転停止は、停止

命令となるのか。
【部長】現時点では、まだ決定していない。
【鯉川】排水ポンプの運転調整によって内水被害が想定される地域を含め、リスクコミュニケーションによる地域との合意形成をどのように考えるのか。
【部長】運転調整には明確な基準やルール、内水被害が発生した場合の補償などが不明確にならないよう慎重な議論を行い、地域住民への丁寧な説明が必要と考えている。
【鯉川】居住地域全体をハザードマップと見立て、電柱等に想定浸水深等を表示する「まどマップ」の取り組みを行わないのか。
【部長】地域の協力が不可欠なため希望する地域の調査を行い、実施に向けた検討に取り組んでいきたい。
命令となるのか。
【部長】現時点では、まだ決定していない。
【鯉川】排水ポンプの運転調整によって内水被害が想定される地域を含め、リスクコミュニケーションによる地域との合意形成をどのように考えるのか。
【部長】運転調整には明確な基準やルール、内水被害が発生した場合の補償などが不明確にならないよう慎重な議論を行い、地域住民への丁寧な説明が必要と考えている。
【鯉川】居住地域全体をハザードマップと見立て、電柱等に想定浸水深等を表示する「まどマップ」の取り組みを行わないのか。
【部長】地域の協力が不可欠なため希望する地域の調査を行い、実施に向けた検討に取り組んでいきたい。



電柱に設置した想定浸水深の標識

消防団員の確保策と処遇改善について



福永 隆一

【福永】消防団への入団勧奨をどのように行っているのか。
【部長】ホームページ、広報誌への掲載や、コンビニ等へポスター掲示を依頼している。
【福永】鹿児島県霧島市が行っている消防団員優遇制度とは、どのようなものなのか。
【部長】消防団員やその家族に対し、地元企業等の協力のもと、ホテルの宿泊料や飲食店での食事代の割引等を行う制度である。
【福永】消防活動に取り組む大学生等の就職活動を支援することを目的とした学生消防団活動認証制度を、本市でも実施できないか。
【部長】市内大学や企業の協力が必要のため、調査研究を行いたい。
【福永】会社勤務の消防団員が活動できるよう、勤務先の企業への

優遇措置等はないのか。
【部長】活動に協力する事業所を認証し、県や市の競争入札参加資格での評価項目において加点をする「消防団協力事業所表示制度」というものがある。
【福永】消防庁が公表した「消防団員の処遇に関する検討会の最終報告書」では、取り組むべき事項として、報酬等の処遇改善や装備の充実が書かれてある。本市の一般団員の報酬額や費用弁償はどうなっているのか。また、装備は基準どおり配備できているのか。
【部長】条例で、報酬は年額2万1000円、費用弁償は日額2400円となっている。装備は、基準の全部は配備できていないが、重要なものについては配備をしている。
【福永】消防団員は災害時には警戒から救助まで役割は多く、自分のまちは自分で守るという精神で活動している。今後も消防団員の確保と処遇改善に努めるよう要望する。

議案審議の概要

一般質問

委員会レポート

議案の議決結果



二酸化炭素削減問題と廃棄物処理施設整備計画について



道祖 満

【道祖】「地域脱炭素ロードマップ」とはどのようなものか。  
【部長】地方創生に資する脱炭素に国全体で取り組む、さらに世界へと広げるために、特に2030年までに集中して行う取り組みや施策を中心に、地域の成長戦略となる地域脱炭素の行程と具体策を示したものである。主な取り組みとして「脱炭素先行地域づくり」「脱炭素の基盤となる重点対策の全国実施」が掲げられている。

率25%での長期安定運転の実証、最大削減率51%の達成などとなっている。  
【道祖】近畿大学と行った実証実験で作成したバイオコークスを石炭コークスに代替することは可能なのか。  
【部長】廃棄物処理施設設備メーカーによると、評価基準として加熱後圧潰強度の値を満たしており、代替可能である。  
【道祖】計画中の廃棄物処理施設において、石炭コークスに代えてバイオコークスを利用することで「脱炭素先行地域づくり」に取り組めるのではないか。  
【部長】地球温暖化対策計画にある「2030年度における温室効果ガスを2013年度比46%削減する目標」「2050年度のCO2排出ゼロ」を達成するため、「脱炭素先行地域」への認定に向けて、施設整備計画策定に当たってはふくおか県央環境広域施設組合や関係自治体と積極的に協議を進めていきたい。

ヤングケアラーについて



奥山 亮一

【奥山】ヤングケアラーについて、どのような認識を持っているのか。  
【部長】令和2年度に国が実施した実態調査によると、中学2年生の17人に1人に当たる5.7%が「世話をしている家族がいる」と回答した。また、中高生のヤングケアラーの4割以上が1日平均5時間以上介護や世話を行っており、3割以上が学校を休みがちといった状況にある。  
【奥山】本市ではどのように実態を把握しているのか。  
【部長】家庭児童相談室で把握している虐待の可能性がある子どもたちの中から発見している。現在、きょうだいの世話や家事の手伝い等で学校に行けない状況の家庭が数件あり、ヤングケアラーとの認識で支援している。

【奥山】既にヤングケアラーとして把握している子どもは現在どのような状況なのか。  
【部長】過度な家事手伝い等が減るなど改善はされているが、虐待等そのほかの問題もあり、現在も支援を続けている状況である。  
【奥山】小中学校では早期に発見や対応を行うため、教職員への研修等を行っているのか。  
【部長】生活指導担当教員向けの研修会を7月に実施し、各学校で校内研修を進めている。  
【奥山】支援体制について、市はどのように考えているのか。  
【部長】ヤングケアラーについて正しい認識が持てるような周知方法や福祉・介護・医療・教育等の関係機関が連携し、早期に見てできる仕組みづくりなどについても検討していく。  
【奥山】現状把握の推進、福祉サービスへのつなぎなどの相談支援の推進、社会的認知度の向上など、早急に実施するよう要望する。

オートレースは何のため？これから20年以上も稼ぎはゼロ!?



江口 徹

【江口】6月議会で36億円のメインスタンド建て替えについて再考を求めていたが、検討は行ったのか。  
【所長】課内で検討したが、計画どおり進めることとした。  
【江口】メインスタンドを建て替えた場合、市財政への繰り入れはいつになるのか。  
【所長】令和23年前後となる予定である。  
【江口】改修が必要になる施設はほかにないのか。また、その費用はどの程度かかるのか。  
【所長】選手宿舍、競走車保管庫、第二スタンド等があるが、費用の試算は行っていない。  
【江口】選手宿舍と第二スタンドだけで20億円を超すかもしれない。そうなるのと更に繰り入れ時期も先送りになる。耐震改修工事により、メインスタンドの耐用

年数を延ばせないのか。  
【所長】耐震調査の結果、コンクリートの中性化が進んでいることなどから、耐用年数は延びないと判断した。  
【江口】市の耐震改修計画に対する県の委員会の評価は妥当だとある。市の判断は間違っているのではないか。  
【所長】建て替えにより維持管理費を抑えるというが、ランニングコストはどのくらい違うのか。  
【所長】年間1323万円減と試算している。  
【江口】10年で1.3億円しか削減できず、不合理である。建て替えについては再検討すべきではないか。  
【市長】施設をよりよいものにしてファンを獲得し、飯塚の特色として活性化させるために必要であると考えて計画を立てたので、理解してほしい。  
【江口】オートレースは市財政に寄与するための事業である。累積赤字の解消のめどが立っている今だからこそ、事業そのものについて再検討すべきである。



コロナ対策／臨時医療施設・療養施設の設置・保健所体制強化



川上 直喜

【川上】 新型コロナ対策の行政アドバイザー会議を最後に開催したのはいつか。
【部長】 昨年10月に開催したと記憶している。
【川上】 臨時医療施設整備の検討はどういう話を県としているのか。
【部長】 県の要請があれば、連携して対応していきたい。
【川上】 宿泊療養施設の市内設置については、県との協議はどこまでできているのか。
【部長】 県の要請があれば、早急に対応していきたい。
【川上】 嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所の機能強化を知事にどう求めたいのか。
【部長】 今後の対応は市内部で検討していく。
【市長】 昨年の休校措置後に医師会、医療機関、感染症専門医も含めた会議で市としてど

れだけのことができたか検討協議した。PCR検査機購入も検討したが、県から市独自で勝手に検査することはできないと言われ、また市内の自宅療養者情報は個人情報に当たると提供はできないと言われた。ピーク時に市内拠点病院の病床利用率を確認したところギリギリだなと思った。一時的には緊急搬送時、4～5件の病院に連絡が必要で状況にまで陥っていた。これ以上ふえたら地域医療もどうなるかと心配な状況だった。幸いワクチンの効果だと思いが、感染者数は減少している。
【川上】 我々の危機感には深刻で、臨時医療施設、宿泊療養施設の市内設置、嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所の体制強化を知事に求めることを提案する。検査体制拡充には、どういう課題があるのか。
【部長】 早期発見・早期隔離が検査目的であり、陽性と判定された情報を保健所へ確実につなぐことが課題だ。

小中学校における教職員の働き方改革について



田中 裕二

【田中】 小中学校における教職員の働き方改革プランの目的は何か。
【部長】 教職員のワークライフバランスのとれた生活を実現し、健康でやりがいを持って働くことができる環境を整備すること、教職員が授業づくりに注力できる体制を整備し、教職員が子どもと向き合う時間を十分に確保できるように、学校教育の質を維持、向上させることを目的としている。
【田中】 目的の達成に向け、どのように取り組んでいるのか。
【部長】 4つの基本方針である①職員が担う業務の精査及び適正化、②学校を支える体制の構築、③教職員の業務改善、④教職員の意識改革に取り組んでいる。
【田中】 病気休暇を取得している教職員は何

人で、どのような理由なのか。
【部長】 病気休暇を取得している教職員は、毎年数名の報告があり、理由としては「負傷及び疾病による療養」、「生徒指導や事務的な仕事、学習指導、保護者対応等でのストレスによるもの」などさまざまである。
【田中】 教職員間でのパワーハラスメントが原因で病気休暇を取得しているという報告はないのか。また、そのような報告があった場合、どのような対応を行うのか。
【部長】 パワーハラスメントが原因で病気休暇を取得したという報告はあっていない。報告があった場合は、速やかに事実関係を確認するとともに、被害者に配慮した対応を行い、行為者に対する措置を検討していく。また、パワーハラスメントは表には出にくい事案のため、正しい知識の取得や研修を行い、良好で明るい職場環境づくりを目指していく。

子どもの人権尊重／市役所での障害のある人の働き方／白旗山



金子 加代

子どもの人権尊重
【金子】 子どもの人権を守る啓発は、どのような現状なのか。
【部長】 主に児童虐待の街頭啓発・講演会を行い、子どもの人権・権利擁護の啓発をHPに掲載予定である。
【金子】 子どもの悩みに対する相談窓口はどのような現状なのか。
【部長】 子どもの悩みは多種多様で学校だけでは解決できない事案も増加している。生活環境に起因する場合もあり、関係部署と連携体制を強化する。
【金子】 相談体制の強化をどう検討するのか。
【部長】 相談体制の強化は必要であり、子どもが中心の利用しやすい相談体制を検討する。
【金子】 来年度設置する子ども家庭総合支援拠点の組織体制はどのようなものか。

【部長】 現状の支援体制を洗い直し、関係課・各機関が連携し、機能を十分発揮できる組織づくりに努める。
【金子】 社会福祉士や臨床心理士等の配置も必要である。子どもの権利条例制定の早期実現を要望する。
障害のある人の働き方
【金子】 飯塚市障がい者活躍推進計画を推進する上での課題は何か。
【部長】 障害の種別を問わず活躍できる場の拡大、障害の特性や程度、能力等を踏まえた職務の選定や働きやすい環境、組織体制の整備・強化が課題である。
【金子】 障害のある職員のことを熟思し、職場環境の工夫を求める。
白旗山メガソーラー
【金子】 開発地からの泥水が幸袋地区の田畑に流入する場合にどう対応するのか。
【部長】 県を通じて施工者に注意喚起を行い、市からは農区長に連絡する等の対応を行う。
【金子】 国や県の動きを注視し、住民の暮らしを守ってほしい。

議案審議の概要

一般質問

委員会レポート

議案の議決結果



合併後の取り組み／新型コロナウイルス感染症対策について



平山 悟

● 穎田地区の市外局番号の統一について

【平山】合併後、飯塚地区以外の旧4町ではどのようなソフト事業が実施されてきたのか。

【部長】

コミュニティバスと予約乗合タクシーの併用運行の実施、買物ワゴン運行の支援、産業まつりや夏祭りの開催などの支援に加え、筑穂地区では庁舎に設置したふれあいカフェの運営に対する支援、穎田地区では市外局番号の統一化に向けた取り組みなどを実施してきた。

【平山】

穎田地区の市外局番号の統一は、穎田地区の住民の利便性向上にとどまらず、市内全域の住民の暮らしやすさの向上や本市経済の活性化につながるものである。

● 浸水対策について

【平山】本年8月の大雨により穎田地区では河川堤防の決壊等なかったものの、たびたび浸水する道路や側道は今回も冠水していた。内水氾濫が軽減されるよう整備できないのか。

【部長】下勢田地区の道路冠水の解消には詳細な調査等を実施し、可能な改善対策を図る必要がある。また、同地区の生活排水路や農業用水路についても、県道整備を踏まえ年次のな整備に取り組む必要があると考えている。

【平山】具体的な内水氾濫対策と並行して、浸水対策事業を早急に進めることを要望する。

● 新型コロナウイルス自宅療養者への支援について

【平山】市は自宅療養患者にどのような対応をしているのか。

【部長】自宅待機者が食料の配送を希望すれば、保健所からの情報提供により行う体制を整備している。

【平山】自宅療養中に亡くなる方もふえていることから、特に自宅療養者に対する支援を検討してほしい。

委員会レポート

7月～9月に開催された常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会の概要について報告します。

総務

8月6日に行われた委員会では、特別付託事件である「入札制度について」及び「情報発信について」の審査をしました。

「入札制度について」の審査では、事業者の自己都合で入札を辞退した場合にペナルティーの措置を提案していたが、その後検討はしているのかという質疑に対し、参加事業者のさまざまな都合や要因で辞退となっており一律にペナルティーを与えることはできないが、入札制度検討委員会や契約課で情報収集や内部協議を行っており、引き続き検討していくという答弁がありました。

「情報発信について」の審査では、本年6月からdボタン広報誌を開始したとのことだが、市民にはどのように周知してきたのかという質疑に対し、6月1日に周知のチラシ



を全戸に配布するとともに、ホームページや公式SNSでも周知を行っているという答弁でありました。

定例会中の9月10日及び14日に行われた委員会では、議案5件及び請願第3号「総合評価落札方式」による入札制度に関する請願を審査し、議案5件をいずれも原案可決、請願1件を採択としました。

「議案第73号 令和3年度飯塚市一般会計補正予算（第6号）」の審査では、嘉穂劇場の今後の施設の活用方法はどのように考えているのかという質疑に対し、関係各課と協議を行い、外部の有識者や若者、業界関係者など新たな協議組織を設置し、保存と活用方法を含めた最善の運営方法を検討したいと考えているという答弁がありました。

福祉文教

8月5日に行われた委員会では、特別付託事件である「児童虐待防止に向けた取り組みについて」及び「ICT教育について」の審査をしました。

「児童虐待防止に向けた取り組みについて」の審査では、本市の児童虐待の発生状況について、どのような認識を持っているのかという質疑に対し、児童虐待の件数は、本市を含め全国的に増加傾向にある。これは虐待が増加していることもあるが、国が通告の義務を定めたことにより、通告が増加したことも要因であると考えている。虐待のあった世帯に対する支援については、すぐに解決できるものではないため、継続的に支援をしていく必要があると考えているという答弁がありました。

定例会中の9月13日に行われた委員会では、議案4件を審査し、いずれも原案可決としました。



「議案第74号 令和3年度飯塚市学校給食事業特別会計補正予算（第1号）」の審査では、穂波西中学校区の給食調理業務を直営で続けた場合、人件費は民間委託した場合とどのくらいの差があるのかという質疑に対し、直営で業務を続けた場合、5年間の人件費が4億4643万6千円かかる試算しており、民間委託した場合との差額は、5年間で約2億970万円になるという答弁がありました。

次に、民間委託により人件費が約半分になるが、業務の質を維持できるのかという質疑に対し、既に市内21校で民間委託が行われており、食の安全は確保されているという答弁がありました。



# 委員会レポート

## 協働環境

8月3日に行われた委員会では、特別付託事件である「地域公共交通について」の審査をしました。

次期コミュニティ交通体系再編に関し、コミュニティ交通のあり方については、民間路線バスの確保・維持を支援することも含めて運営していくという点とだが、どのようなことを行うのかという質疑に対し、民間路線バスと重複しているコミュニティバス路線の運行計画の見直し等を行い、民間事業と行政の役割分担を明確にするなど、実質的に民間路線バスの利用者が増えるような仕組みづくりを考えているという答弁がありました。



てに赤字補填をするようにしている。住民の貴重な移動手段のため、できる限り路線の確保・維持に努めたいという答弁がありました。

「議案第83号 契約の締結（幸袋交流センター建設工事）」の審査では、昨年入札があった二瀬交流センター建設工事はJ V対象工事だったが、金額があまり変わらない今回の建設工事は、なぜJ V対象工事ではないのかという質疑に対し、J V対象工事の基準を昨年までは設計金額3億円以上としていたが、本年度より6億円以上に見直しを行ったことから、今回の工事はJ V対象となっていないという答弁がありました。

## 経済建設

7月29日に行われた委員会では、特別付託事件である「産業振興について」及び「中心拠点の整備について」関連があることから、一括議題として審査をしました。

株式会社イズミと締結した「大型商業等施設の立地に関する協定書」に基づき、同社が作成した提案書をもとに、本市が市民や商業関係者に説明会を行った中で、商業関係者からの要望はなかったのかという質疑に対し、今回の説明会のほか、菰田・堀池地区の住民や商業関係者などと50回以上の意見交換会や勉強会を実施した中で、大型商業等施設との連携方策の意見や要望を受けているという答弁がありました。

次に企業立地促進補助金の対象に宿泊業を追加すべきではないかという質疑に対し、宿泊業の需要と供給の両



面から調査を行い、補助金の対象にすべきか研究していくという答弁がありました。

「認定第15号 令和2年度飯塚市下水道事業会計決算の認定」の審査では、下水道事業計画区域では、浄化槽設置整備事業補助金制度の対象外となっており、特に新築の場合には水洗化を推進していく必要があると思うが、どのような対策を検討しているのかという質疑に対し、下水道事業計画区域を縮小し、浄化槽設置整備事業補助金制度の対象地域を拡大する見直しを検討しているという答弁がありました。

「認定第15号 令和2年度飯塚市下水道事業会計決算の認定」の審査では、下水道事業計画区域では、浄化槽設置整備事業補助金制度の対象外となっており、特に新築の場合には水洗化を推進していく必要があると思うが、どのような対策を検討しているのかという質疑に対し、下水道事業計画区域を縮小し、浄化槽設置整備事業補助金制度の対象地域を拡大する見直しを検討しているという答弁がありました。

## 議会運営

定例会中の9月15日に行われた委員会では、「請願第4号 飯塚市議会の議員の定数を定める条例の一部改正を求める請願」の審査をしました。

請願の紹介議員に対する質疑応答では、市民の中にも、経費を削減すべきとして議員定数削減に賛成する声が多いが、その点については、どのように考えているのかという質疑に対し、本市議会では、これまでかなりの議会費を削減してきたことではあるが、定数削減については総合的に考える必要があるという答弁がありました。

次に、請願の趣旨に「女性をはじめ多様な市民から構成される議会、様々な意見が反映される議会となるよう」とあるが、そう考える理由は何かという質疑に対し、議員の性別、年齢、住んでいる地域に偏りがあることが考えられる。一例を挙げれば、子育てに関しては、固定的性別役割分担がある現状では、主体的に関わった方も少なく、議会において子育てについての意見を反映させることは難しいと考えているという答弁がありました。

審査ののち、本件は慎重に審査すべきというところで、継続審査としました。



